

研究実施のお知らせ

2017年4月28日 ver.1.1

研究課題名

アレルギー疾患のバイオマーカーの検討（後ろ向き研究）

研究の対象となる方

2015年3月から2018年3月の間に島根大学医学部附属病院でアレルギー疾患と診断され、アレルギーの治療を受けられた方です

研究の目的・意義

アレルギーとは、ダニやスギ、卵などのいろいろなものに対してからだが過敏に反応して、皮膚症状（湿疹、蕁麻疹など）、呼吸症状（咳、ぜん鳴など）、鼻の症状（鼻汁、鼻閉など）および目の症状（目の充血やかゆみ）があらわれて患者さんにつらい症状をもたらします。具体的な病気は、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、食物アレルギー、薬疹、天疱瘡、類天疱瘡、接触性皮膚炎などです。これらは、1型から4型アレルギーという免疫学的な機序で発症すると言われていますが、中には型がオーバーラップしている病気も知られています。しかし、これらの病気がどうして起こるのか、どうして悪化するのか、あるいはどのような薬が効くのかなどを明らかにする指標（バイオマーカー）がわかっていません。皮膚科学教室では、日本でのアレルギー患者さんのバイオマーカーを明らかにするため、アレルギー患者さんの血液や尿などの検査を行い、診断および治療に有用なバイオマーカーを検討しています。バイオマーカーが明らかになれば、アレルギー患者さんの診療に貢献できると

ともに、国民の健康をもたらすことができ、ひいては医療費の軽減にも大いに寄与できると考えております。本邦のアレルギー患者のバイオマーカーの有用性を解明するため、アレルギー患者の検査データおよび残余血清をもちいた評価を行い経過や患者間で比較できます。本研究により、アレルギーに普遍的にみられるバイオマーカーを明らかにすることができます。

研究の方法

アレルギー患者のアレルギーに関与すると考えられる情報（アレルギーの症状、種類、原因、治療に対する反応性）を集積し、比較検討します。一部の患者さんには残余血清をストックし、共通項目について、未検査の場合は皮膚科の研究費をもちいて、検討いたします。検討する項目は、白血球数、好酸球数、血清 LDH、血清 TARC（thymus and activation-regulated chemokine）、総 IgE 値、抗原特異的 IgE 値、sIL-2R 値などを予定しています

研究の期間

2015 年 3 月～2018 年 3 月

研究組織

この研究は島根大学医学部皮膚科学講座が行います。

[研究機関]

島根大学医学部附属病院皮膚科

[研究責任者]

金子 栄

試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2017 年 12 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情

報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部皮膚学講座 金子 栄

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2210 FAX 0853-21-8317